



ルッポ君

小学校で不登校の子ども達と過ごしています。先日の雨の日、「先生、外へ行きたい!」。結構な勢いの雨だったので躊躇しましたが、一緒に散歩に出ました。水溜りの中をバシャバシャ歩いたり、濡れてみたり、傘をお猪口(逆さ)にして水を溜めたり…。そうこうしていると校長先生が牛乳ビンを持って出ていらして「どれ位水がたまったか測ってみよう」。すると牛乳ビン2杯とまだ余るくらいの水が…。溜まった水の多さにみんなビックリ、ニコニコ顔になりました。

その時『はぐるッポ』の日々の様子が思い浮かび、「～したい」という子ども達の願いを大切にしているのが『はぐるッポ』なのだ改めて思いました。(もちろん願いを言えない子もいます。『学校』にも『はぐるッポ』にも行けない(行かない)子ども達もいます…。)(降旗)

10月予定		開所・行事
5日	水	13~17時
6日	木	はぐスタ14~16時
7日	金	13~17時
12日	水	13~17時
14日	金	13~17時
15日	土	親の会
19日	水	13~17時
20日	木	はぐスタ14~16時
21日	金	13~17時
26日	水	13~17時
28日	金	13~17時
31日	月	13~17時

カラフルな障子、みんなで描きました



破れた障子を張り替えるのならと、みんなで障子に絵を描いて貼り付けました。カラフルな大作ができました。



マイクラフト教育版に夢中



恐竜のすごろく、なかなか難しい。



アイロンビーズでお姫様作ったよ。アイロンも使えるよ。



プラ板づくり

作った作品を見せてくれました。お母さんや家族、お友だちにあげたいんだって、ステキだね!!



はぐスタで、ペットボトル・ロケットを作って飛ばしました。大成功!?



ハエトリスミレです。プラバン作家のナナアキヤさんに頂きました。コバエを食べちゃいます。

9月の活動報告		
2日	金	開所
5日	月	スタッフ会議
7日	水	開所
8日	木	はぐスタ
9日	金	開所
14日	水	開所
16日	金	開所
17日	土	親の会
21日	水	開所
22日	木	はぐスタ
26日	月	開所
28日	水	開所
30日	金	開所

天文字宙新聞

第13号 2022年9月12日発行
創刊 渡

信大連携サイエンスセミナー
「ブラックホールの見つけ方」

9月4日(日)、松本市教育文化センターで行われた、信大連携サイエンスセミナーに参加してきました。講師の内容は、信州大学三澤進先生による「ブラックホールの見つけ方」です。

ブラックホールは、約200年前に研究が始まりました。はじめは、何となくブラックホールがあるのではないかと考えられていました。それが1900年代に入って、アインシュタインが相対性理論を発表するとどんどん研究が進んで、光さえ逃げ出せない天体(ブラックホール)が実際に存在すると考えられるようになりました。そして最近では、2019年4月10日にブラックホールの写真が世界に初めて公開されました。

セミナーでは、地球や木星、太陽の脱出速度について学んだり、ブラックホールの探し方を聞いたりしました。ブラックホールの探し方はいくつもあって、見つけるのは簡単なのかなと思いましたが、広い宇宙の中の一つの天体を探すのはとても難しいと感じました。また、2030年頃の探査を目的としているTMT(直径30m級の望遠鏡)のお話も聞きました。TMTが完成すれば、ブラックホール探しの電波干渉計の仲間になると僕は思っています。

松本市教育文化センターでは、今年全部で6回のサイエンスセミナーがあり、それぞれ渡先生です。

10月2日(日)
—北アルプスで見つけた地球最南の第四紀花園
10月30日(日)
—身近な植物の数を見つめる
11月26日(土)
—道伝子の愛人方
興味がある人は、教育文化センターに申し込みをしてみてください。



EITのホームページより

天文字宙新聞

第14号 2022年9月17日発行
創刊 渡

富士見パノラマリゾート☆ナイトゴンドラ・星空観察会

富士見町にある富士見パノラマリゾートで、三日間(9/16,17)限定のナイトゴンドラ星空観察会が開催されて、9月10日(土)に参加してきました。去年と一年前はコロナの影響で中止になっていたのですが、僕は楽しみにしていました。理由は、僕の天文師匠の元日本プラオタクカメラ協会の若宮孝先生が講師だからです。先生の星空観察会は、実際の観察の前にその日見られる星空や天文現象の解説があり、その方が詳しくてわかりやすく、とてもおもしろいので大好きです。

この日は中秋の名月で、月と木星と土星を望遠鏡で見ました。山形村は照明が少ないので、ほかの星々も肉眼でよく見えました。後半は、ガスが広がって星が見えなくなりましたが、下に降りるとガスがなくなり、また満天の星空と月が見えました。今年のお月見は、いつもと違いお月見思いになりました。今年の星は、主星の星は、2025年に向けて少しずつ見かけ上消えていきます。その変化を観察していくのも、おもしろそうです。



紹介した若宮先生の星空観察会は、富士見町にある「山形村パノラマリゾート」のナイトゴンドラでも、1・2月を除いて毎月無料で行われています。大勢の天文愛好者が4台あり、星雲や星団、星房なども観察することができます。星の空や雨でも天体や宇宙のお話があるので、中止はありません。

アストロロガスから見た星の数は、松本市よりもとても多くて、観望会中に流れ星を見たこともあります。近くの一番好きな観望会なので、ぜひ行ってみたいと思います。詳しいことは、少年自然の家(TEL:0266-66-2611)にお問い合わせをしてみてください。僕も毎回参加しています!

*** みなさん、ありがとうございました！**



玄向寺さん、
青原寺さん
いつも、いつも
ありがとうございます。
ございます。

8月16日、山形村の村議会の議員さん6名と他3名が「はぐルッポ」に視察にみえました。はぐルッポのことをお話しした後いろいろ意見交換し、子どもたちの様子も見ていただきました。

はぐルッポ親の会

9月17日(土)

今回は「ゆっくりおしゃべりの会」ということで、普段思っていること、困っていること、親としての経験談、いろんなことをおしゃべりしました。

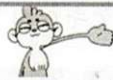
切なかったのは、子どもの口から「このまま学校へ行っていたら、私じゃなくなる」と言われた、「私自身が壊れる」と言われたと語ったお母さんたちの言葉。そこまで我慢していた子どもの気持ち、それを聞いたお母さんの気持ち、どんなに辛かったんだろう。

それにしても、学校とのやり取りで傷ついている子どもや保護者の方が本当に多いと感じました。(西森)



耳より情報

- ・不登校や不登校傾向等の中学生・保護者のための「高校進学説明会」長野県教育委員会・10/28(金)17:00~19:00、12/2(金)18:00~20:00 松本合同庁舎にて
- ・丸子中央病院市民公開講座「年代別発達障害の支援」講師：本田秀夫先生
※Zoomによるオンライン講座、要申込、参加費無料
11/26 幼児期・学童期の支援、1/28 思春期の支援、2/25 成人期の支援



ルッポのつぶやき

最近 YouTube で 30 年前のテレビ番組『あっぱれさんま大先生』を見て笑っています。出演しているのは子役ではありますが、子どもなりの素の姿を見せてくれます。変なあだ名をつけられたり、時にけなされたりしながらも、笑いに変えて、のびのび言いたいことを言い合っているのがすがすがしい。個性豊かってやっぱり楽しいです。(糸井)

子どもの支援・相談スペース「はぐルッポ」

松本市浅間温泉 1-5-1 浅間荘 14 号室
Tel&Fax: 0263-31-3373
E-mail: hugmatsu@sky.plala.or.jp
松本市役所 こども育成課
Tel:0263-34-3291 Fax:0263-34-3309